

# 神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 24-1】 2024年6月28日発行  
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

## 保険証残す運動を広げ、社会保障の学習をすすめる！！

6月15日、神奈川県社保協2024年度総会を開催し、新年度の活動方針と予算、役員体制を確立しました。オンライン参加10人を含めて、26団体43人が参加しました。

総会は、神田敏史代表委員が開会あいさつし、議長団に田中麻衣子常幹・光野正洋常幹を選出しました。根本隆事務局長が、活動報告・議案提案し、会計監査報告しました。総会に提起された2024年度の活動方針の重点は以下の4つです。

- ①「現行の健康保険証を残せ」の運動に全力をあげる。
- ②「人権としての社会保障」めざす「学習運動」をすすめる。
- ③「国」への署名運動、「市町村」・「県」との交渉・懇談をすすめる。
- ④「共感」と「共同」を広げ、「地域社保協」の「強化・拡大」をすすめる。

## 県社保協 2024 年度総会

### 《代表委員》

野末 浩之	神奈川県民医連
二村 哲	神奈川県保険医協会
田中由美子	新日本婦人の会神奈川県本部
住谷 和典	神奈川県労連
神田 敏史	自治労連神奈川県本部
菅野 健一	神奈川県建設労働組合連合会
村田 泰子	全日本年金者組合神奈川県本部

## 8人が発言「地域と職場の実態と要求にもとづいた取り組みの報告」

- ◆生健会・市木さん「群馬県桐生市のあまりにひどい生活保護行政の是正の取り組みをすすめている。6月7日東京高裁で神奈川県生存権裁判の控訴審がはじまった。次回の口頭弁論は9月10日」。
- ◆平塚社保協・原さん「加齢性難聴の補聴器助成の運動をすすめる。6月22日に学習会を開催し、アンケート活動に取り組み、平塚市に助成要望していく」。
- ◆神商連・吉田さん「中小業者はコロナでボロボロになり、インボイスが追い打ちをかけ、廃業ものすごい。社会保障の滞納では年金事務所の対応が厳しく、交渉をすすめている」。
- ◆民医連・相楽さん「保険証残してください署名に大きく取り組み1万筆をこえて集約した。訪問介護の介護報酬引き下げは介護事業所が厳しい状態。ヘルパー・ケアマネ不足も深刻になっている」。
- ◆川崎社保協・昼間さん「国の責任でぜん息患者の医療費救済制度の創設を訴えている。7月16日に日産本社前行動を実施する」。
- ◆年金者組合・村田さん「神奈川県年金裁判の控訴審は、6月6日に東京高裁で不当判決が出された。上告することを決めたが厳しいたたかいになるので、ご支援をお願いしたい」。
- ◆個人会員・佐々木さん「社保協も参加する県民要求連絡会が神奈川県との交渉を行っているが、神奈川県から交渉をやめて回答文書だけにしたいという意向が出されている。交渉を継続するようにしたい」。
- ◆保険医協会・田中さん「健康保険法の省令で保険証の発行が明文化されているが、削除を閣議決定した。6月22日までパブリックコメント募集期間。ぜひ意見を出していただきたい。保険証残しての運動がんばりましょう」。

討論のまとめで、根本事務局長は、「岸田政権の大軍拡・増税・社会保障削減政策に、地域と職場から実態と要求にもとづいた運動で対抗していくこと。自治体とも連携して、『人権としての社会保障確立』に向けた運動をすすめよう」と訴えました。

### <総会へのあたたかいメッセージありがとうございました>

- 立憲民主党神奈川県総支部連合会代表・衆議院議員青柳陽一郎様、●日本共産党衆議院議員志位和夫様、●日本共産党神奈川県議会議員団様、●茨城県社保協様、●埼玉県社保協様、●千葉県社保協様、●東京社保協様、●山梨県社保協様、●愛知県社保協様、●京都社保協様、●岡山県社保協様、●福岡県社保協様、●沖縄県社保協様

# 社会保障の拡充と消費税減税を展望した市民的運動を！

総会Ⅱ部として、伊藤周平氏（鹿児島大学法文学部教授）より、「人権としての社会保障確立へ、高齢社会での運動と展望」と題して学習講演をいただきました。

「日本の高齢者の貧困率は、一般世帯に比べて 10%以上も高く、女性 22.8%、男性 16.4%で、OECD（経済開発協力機構）諸国平均の女性 15.1%、男性 11.5%を大きく上回っている」。「消費税は、貧困や格差を拡大する特徴をもつ不公平税制といってよい。そして、社会保障の主要財源を消費税に求めるかぎり、貧困や格差の拡大に対処するために、社会保障支出の増大が不可避となり消費税を増税し続けなければならない。増税ができなければ、社会保障を削減し、貧困と格差の拡大を放置するかしかない。消費税は、社会保障の財源として最もふさわしくない」。高齢者と社会保障をめぐる状況をお話しされました。

運動の方向性として、「医療保険については、現在の国民健康保険、被用者保険の並列状態を維持しつつ、国民健康保険への公費投入を増やしていくべきと考える。将来的には、すべての国民を対象とする医療保険制度を構築し、収入のない人や住民税非課税の低所得者については保険料を免除し、10割給付の医療保障（医療費の自己負担なし）を実現すべきと考える」。「格差と貧困の解消、そのための具体的な社会保障の拡充案、社会保障の財源確保のための所得税・法人税の累進性の強化、富裕層の金融所得や資産に対する課税強化、消費税の減税といった具体的な税制改革のスケジュール工程表を作成し、時間をかけて訴えていく自民党に代わりうる政党やそれを支える市民の運動がいま求められている」と訴えました。

高齢社会での社会保障確立運動をすすめる私たちにとって、運動の方向性を明確に示していただいたお話しでした。若干の質疑のあと、村田泰子代表委員があいさつし閉会しました。



## 神奈川「年金切り下げ違憲訴訟」、東京高裁が不当判決！！

6月6日、東京高等裁判所において、神奈川年金減額違憲訴訟の判決が出されました。神奈川裁判の争点は、年金減額処分が、①年金受給者の健康で文化的な権利を侵害するものとして憲法 25 条に反するかどうか、②特例水準の解消が憲法 29 条で保護される財産権に当たるかどうかです。

神奈川の訴訟は、「年金の原資は自分たちが積み立てたものであり、一方的に減額することは憲法違反」として組合員 255 人が提訴して、9 年目になります。本来積立方式であったものを国民的な合意のないまま賦課方式にされてしまったこと、それによって少子高齢化を理由に年金を削減したことは憲法に違反すると主張してきました。訴えは、「棄却」のひとつで切り捨てられ、理由においてはこれらのことに正面から応えずかみ合わない内容に終了しました。伊藤周平鹿児島大学教授の証言やILO条約、国際人権規約を無視したものです。

最高裁判所へ上告し、引き続き年金制度の抜本的改善、最低保証年金制度の創設など若者も高齢者も安心できる制度に向け運動することを確認しました。〈全日本年金者組合神奈川県本部より〉



## 神奈川「生存権裁判」東京高裁で控訴審がはじまる！！

「神奈川生存権裁判」は 2022 年の地裁勝訴判決から間隔が空きましたが、6月7日に東京高裁を舞台に控訴審・第1回口頭弁論が始まりました。最も大きい 101 法廷の傍聴席をあと 1 人のところまで埋めきり、県内の各団体や首都圏の同じ裁判を闘う仲間の皆さんも多数、駆けつけてくださいました。控訴人・国側の陳述は、「原判決が誤りと」述べるに過ぎませんでした。我が原告側弁護士 2 人は「そもそも今になって、判断の枠組み論自体がおかしい」「生活扶助相当の統計根拠はすでに崩れている」堂々とした主張でした。

第2回目の口頭弁論は9月10日、神奈川の支援する会は1万筆の署名で勝利を引き寄せるべく奮闘します。〈神奈川県生活と権利を守る会連合会より〉



## 学習しながら運動を強化する！！

## 相模原市社保協総会

相模原市社保協は6月1日、第25回総会を26名の参加で開催しました。

I部は「医療・介護の今後、保険料について」県社保協の根本事務局長が講演しました。医療保険も介護保険も引き上げの方向が出ている中で、改めて「社会保障とは」から説き起こしました。

II部の総会は議案の提案後、加盟団体の参加者からの発言が相次ぎました。津久井地域の診療所統廃合計画、本年度から本格実施となった補聴器助成制度、高裁での審理が始まる生存権裁判、学校給食の無償化の運動など市民要求に基づく運動が市内各地で展開されていること、市政が行財政構造改革と言って福祉施策を後退させていることから社保協の今後の課題、学習をしながら運動を強化することを確認しあい、閉会しました。〈相模原市社保協・中屋重勝事務局長より〉



## 学習、宣伝、自治体懇談すすめる！！

## 西湘地域社保協総会

6月8日午後、生涯学習支援センターけやきにて「西湘地域社会保障推進協議会（西湘社保協）」の総会を開催しました。

総会に先立ち、中村淑さん（居宅介護支援事業所ケアプランなかむら所長）による学習講演を行いました。看護師、保健師として勤務、福祉にも携わり定年退職後に居宅介護支援事業所を立ち上げるまでの自身の思いや経験、現在の介護保険情勢を含めてお話いただきました。『これはおかしい』と思ったら声を出し続けることが大事と、社保協で取り組んでいた「訪問介護費引下げ撤回と介護報酬の再改定を早急に求める要請書」にもご協力をいただきました。

総会では、23年度活動のまとめ・学習、宣伝、自治体懇談すすめる24年度活動方針、決算・予算を確認し閉会となりました。引き続き事務局体制の整備が課題です。〈西湘地域社保協・市川立事務局長より〉



## 「訪問介護の報酬引き下げ撤回、介護報酬の再改定要請書」361筆提出！！

4月下旬、中央社保協は、厚労大臣と財務大臣あてに「訪問介護費引下げ撤回と介護報酬の再改定を早急に求める要請書」の取り組みを全国に呼びかけました。神奈川県社保協として呼びかけたところ、社保協加入の組織のみならず、県内の多くの介護事業所から要請書が寄せられました。

6月3日の介護署名提出国会集会には、全国からの3720筆の要請書を厚労省・財務省に提出し、神奈川から361筆の要請書を提出しました。

「ただでさえ経営が厳しくホームヘルパーの人手不足が続く訪問介護事業所の介護報酬引き下げは、深刻なダメージとなります。訪問介護の介護報酬の引き下げ撤回、介護報酬の再改定をただちに実施してください」など切実な声が寄せられました。6月5日、こうした運動に押されて、衆議院厚生労働委員会は、「介護障害福祉事業者の処遇改善に関する決議」を全会一致で採択しました。



厚労省・財務省職員に要請書を渡す五常幹

## 「これ以上何を削れというのか!？」全県一斉宣伝行動西湘地域キャラバン

6月19日、税・社会保障一体改悪に反対する全県実行委員会は大磯、二宮、箱根、湯河原、真鶴の5町で「消費税減税とインボイス廃止」、「保険証をなくすな」の宣伝・署名行動キャラバンを実施。255セットの宣伝物を配布し、消費税署名13人分、保険証署名17人分を集めました。大磯町では「これ以上何を削れというのか!？」と年金ぐらいの男性が怒って署名。二宮町では「消費税減税は無理じゃない」という女性に「世界では減税が当たり前になっているんですよ」と話すたびびっくりしていました。湯河原町では小学生から「がんばってください」の声援が寄せられました。



6月27日には、中井町、大井町、開成町、南足柄市、山北町、松田町を回りました。〈各界連ニュースより〉

## 6.20 「なくすな保険証」 宣伝行動・署名コーナーに長蛇の列!!

6月20日、昨年の9月から毎月定期的に宣伝している「なくすな保険証」宣伝を伊勢佐木町で行いました。当日は、保険医協会、建設国保、自治労連、神奈川県建、年金者組合、民医連、横浜社保協、県社保協の各団体から、19名が参加しました。チラシ・ティッシュ500枚配布し、署名は54筆集まりました。

さらに、現行保険証をなくす準備として、厚労省が、健保法等の省令から保険証交付義務の規定を削除するための変更について意見募集（提出期限6/22まで）への協力のお願ひも併せて行いました。

商店街の真ん中に設置した、「現行の保険証を残して下さい」の署名コーナーには、各団体からのスピーチに呼応して、長蛇の列に並ぶこともありました。「『マイナカード』の安全性に不安がある。これに、健康保険証を紐づけるには、さらに不安である」、「月1回通院しているが、紙の保険証で十分で不都合なことはなにもない。なぜマイナ保険証に一本化するメリットが分からない」、「テレビで、携帯電話購入時の身分証明にマイナカードが必須と報道されていた。保険証との一本化もその手段と思うが、そこまで、強制的に推進する必要があるのか」など、不安や不満の声が相次ぎました。

当日の行動に参加した各団体から、毎月宣伝行動をしているが、「保険証を残してほしい」という市民の声の広がりを感じる。今後も宣伝活動を強化していきたいなどの意気込みが相次ぎました。

**次回の伊勢佐木町宣伝は、7月18日(木)16時~17時です。**



**なくすな!! 健康保険証**  
**7月18日(木) 16:00~** **伊勢佐木町**  
**宣伝・署名行動!!** **有隣堂前**

### 《7月の主な行動・会議日程》

- 7月3日(水) 中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:00 日本医療労働会館+ (ZOOM)
- 7月4日(木) 県社保協介護保険改善委員会 10:00 平和と労働会館 3F 会議室+ (ZOOM)
- 7月5日(金) 県社保協第1回常幹 14:00 建設プラザ 3F 会議室+ (ZOOM)  
(なくすな保険証! 神奈川県連絡会事務局団体会議)
- 7月7日(日) 川崎母親大会 10:00 川崎市産業振興会館
- 7月10日(水) 輝け! 高齢期かながわのつどい in 港南 13:30 港南公会堂
- 7月12日(金) 県社保協第1回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 7月13日(土) 神奈川県民医連・ピースフェスティバル 13:30 鶴見公会堂
- 7月15日(月) 県民要求連絡会・夏季討論集会 13:30 神商連会館 4F 会議室
- 7月16日(火) ぜん息医療費救済制度の創設を! 日産本社前行動 12:00 日産グローバル本社前
- 7月17日(月) 北央医療生協「ほっとさろん大和」学習会 11:00 生涯学習センター
- 7月18日(木) なくすな保険証! 神奈川県連絡会宣伝署名行動 16:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 7月20日(土) 第66回自治体学校 in 神奈川 13:15 鶴見公会堂・他 (7月21日15:30まで)
- 7月21日(日) オスプレイ飛行再開反対厚木基地集会 15:00 大和駅前広場
- 7月24日(木) 県民要求連絡会事務局会議 10:00 県職労連会議室  
高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室  
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 7月25日(金) 全労連第32回定期大会 13:00 砂防会館 (7月27日12:00まで)  
7.25女性の権利デー神奈川アクション 15:00 桜木町駅前
- 7月31日(水) 国民大運動実行委員会事務局団体会議 9:00 平和と労働会館 4F 会議室+ (ZOOM)
- 8月1日(木) 県民連絡会・神奈川県への要求提出 (時間・会場未定)
- 8月2日(金) 県社保協第2回常幹・幹事会合同会議 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)  
消費税ネット世話人・事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 8月4日(日) 原水爆禁止2024年世界大会(広島) 14:00 広島県立総合体育館 (6日13:00まで)
- 8月8日(木) 原水爆禁止2024年世界大会(長崎) 14:00 長崎大学中部行動・他 (9日13:00まで)
- 8月10日(土) 中央社保協総会 11:00 全労連会館ホール+ (ZOOM)